

学習内容報告書 フォーマット

学校名	能登町立松波小学校
授業者	河元 友子

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

生き物のくらしと環境～海の中の食物連鎖～

1-2. 学年

6年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

理科

1-4. 単元の概要

「動物のからだのはたらき」や「植物のからだのはたらき」などの既習事項と関連付けながら、生き物どうしの「食べる」「食べられる」という関わりや、生き物と空気や水などの環境との関わりを総合的にとらえる。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

- ・自然の中での生物どうしの食べ物を通じた関わりについてや、生物は空気や水を通して周囲の環境と関わって生きていることについて理解する。
- ・海の中のプランクトンを観察することで実感を伴った理解ができるようにする。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

生物と環境との関わりについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとするとともに、学んだことを学習や生活などに生かそうとする態度を育む。

1-7. 単元の展開（全6時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>絵や写真を見て、生物は他の生物や周りの環境とどのように関わっているか考え、生物と環境との関わりについて問題を見いだす。</p> <p>人の食べ物の元は何かを調べ、まとめる。(調査①)</p>	<p>・生物は、他の生物や周りの環境とどのように関わっているかについて問題を見だし、食べ物を通した生物のかかわりについて調べ、表現している。【思判表】</p>
2 ・ 3	<p>ダンゴムシが落ち葉を食べる様子や水中の小さな生物を観察するなどして、自然の中での動物の食べ物を調べる。(観察①)</p> <p>観察結果を基に、生物の食べ物を通した関わりについて考え、まとめる。</p>	<p>・生物の間には、食う食われるという関係があることを理解している。【知技】</p> <p>・観察結果を基に、自然の中での生物どうしの食べ物を通した関わりについて考え、表現している。【思判表】</p>
4	<p>空気中に酸素を出している物は何かに問題を見いだす。</p> <p>植物が酸素を出しているかを調べ、まとめる。(実験①)</p>	<p>・空気中に酸素を出している物は何かについて酸素や二酸化炭素の変化を酸素センサーや気体検知管を正しく使って調べ、適切に記録している。【知技】</p>
5	<p>生物と水との関わりについて考え、まとめる。</p> <p>地球をめぐる水と生物との関わりについて考える。</p> <p>生物と食べ物、空気、水との関わりについて、学んだことをまとめる。</p>	<p>・生物は、空気や水を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解している。【知技】</p> <p>・生物と環境についての学習を振り返り、表現しようとしている。【態】</p>
6	<p>海の中の小さな生物を観察することで、海の中の生物の食べ物を通した関りについて考える(観察③)</p>	<p>外部連絡：能登里海教育研究所 浦田慎さん 使用教材：顕微鏡，プランクトン等顕微鏡画像をモニターに映し出す装置</p> <p>・生物の間には、食う食われるという関係があることを理解している。【知技】</p> <p>・水中の小さな生物について、粘り強く他者と関わりながらまとめようとしている。【態】</p>

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ




単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- ・プランクトンが海の食物連鎖の基盤となっていることや、どんな種類のものが生息しているのかを知る。
- ・プランクトンの採集・観察を通して、日本海（能登）の豊かさを知る。

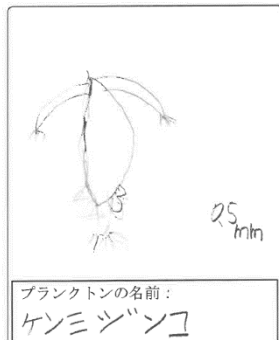
2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1. 陸上や海の中の食物連鎖についてふり返る。 <u>陸上</u>：肉食動物←草食動物←植物 <u>海の中</u>：サメ←ブリ←イワシ←水中の小さな生き物</p> <p>2. プランクトンの説明 （プランクトンとは何か。）</p> <p>【課題】《どんなプランクトンが能登の海には生息しているのだろうか》</p> <p>3. 予想する。 ※ジャムボードの付箋に簡単に記入し、全体で共有する。</p> <div data-bbox="220 1460 724 1747"> <p>< どんなプランクトンが能登の海に生息しているのか。 > ポイント ・色 ・形 ・大きさ</p> <p>○予想（簡単に絵と言葉でかこう）</p> <p>細長 そう</p> <p>手とか足みたいなのが生えてそう</p>  </div> <div data-bbox="220 1756 724 2038"> <p>< どんなプランクトンが能登の海に生息しているのか。 > ポイント ・色 ・形 ・大きさ</p> <p>○予想（簡単に絵と言葉でかこう）</p> <p>透明 クリオ 0.001mm ネミ 小さい</p>  </div>	<p>GT：能登里海教育研究所 浦田慎さんのお話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の中のプランクトンを何種類も用意する。 ・顕微鏡を一人1台操作する。 ・プランクトンの大きさや色、形の違いを全体でも確認できるように大型TVに示す。 

4. 顕微鏡での観察準備 (顕微鏡のセットアップ)
5. 顕微鏡でプランクトンの観察する。
※その大きさや色, 形の違いに驚いていた。



★ ^{かんさつ}観察できた植物プランクトンと動物プランクトンの絵をかいてみよう。



6. まとめ
 - ・プランクトンの種類 (植物性・動物性 どんなプランクトンが生息しているかなど)
 - ・食物連鎖について (生産者・消費者の関係や食物連鎖について確認する)
7. ふり返り

生物の間には, 食う食われるという関係があることを理解している。【知技】

水中の小さな生物について, 粘り強く他者と関わりながらまとめようとしている。【態】

3. 今回の活動の自己評価

- ・児童は昨年度ウニの卵，精子，受精卵を観察していて，海の生き物にとっても興味をもって授業に参加していた。
- ・能登の海にいる実物のプランクトンを見ることで，児童の興味関心が大変高まった。
- ・児童は海の中の生き物のバランス，海の環境の大切さを実感できた。

4. 今後の課題

- ・本字でもプランクトンを観察する時間をできるだけとったが，児童からは「もっと見たかった」という感想が多かった。総合的な学習の時間など横断的なカリキュラムの見直しが必要である。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・「生き物のくらしと環境」の単元は1学期末であるが，海の中のプランクトンの観察は12月に行った。児童の意識の流れが途切れないように工夫が必要である。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真，画像，図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝，10.5ポイント / マージン：上下端20mm，左右端16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし，複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。